

防災・安全ニュース

VOL. 17

危機管理課

2024年9月号

電話：65-1282

先週は、動きの遅い台風第10号に翻弄されましたが、今月も台風シーズン継続中ですので、日頃の備えの継続をお願いします。

では、今月号もよろしくお付き合いください。今月号のトピックスは次のとおりです。

- ・南海トラフ地震臨時情報
- ・チャイルドシートの着用
- ・台風頭痛
- ・防災の日、防災週間

南海トラフ地震臨時情報

先月8日に日向灘を震源とする地震（最大震度6弱，M7.1）が発生したため、**南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）**が発表されました。このことに伴って国からは、「日頃からの地震への備えの再確認に加えて、地震が発生したらすぐに避難するための準備（特別な注意の呼びかけ）」が呼びかけられました。

この**臨時情報の発表は、2019年の運用開始から初めてでしたので**、十分に理解できなかった方は、以下に**参考となる気象庁と内閣府防災情報のページ**を紹介しますのでご覧ください。

南海トラフ地震に関連する情報の種類と発表条件（気象庁）

→ https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/nteq/info_criterion.html

南海トラフ地震臨時情報が発表されたら！（内閣府）

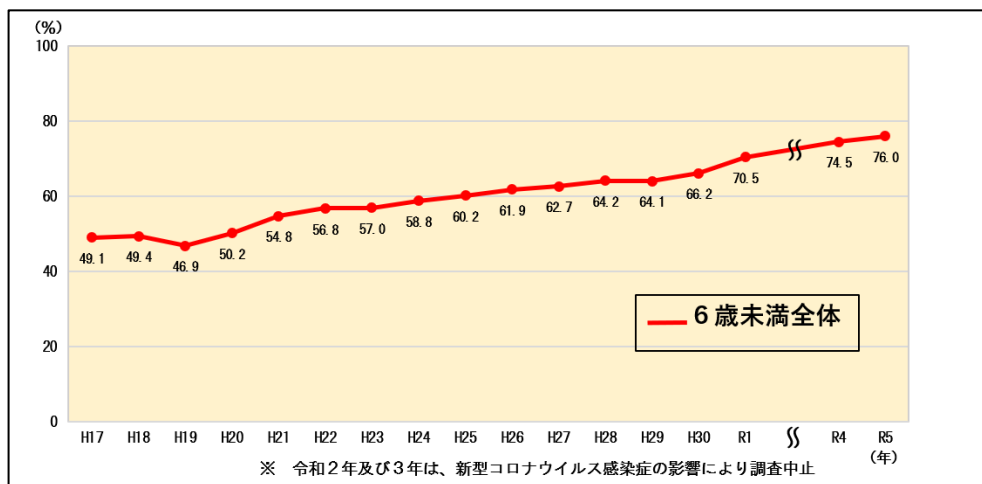
→ <https://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/rinji/index6.html>

チャイルドシートの着用

今月 21 日から 30 日までの間、秋の全国交通安全運動が実施され、30 日は交通事故ゼロを目指す日です。日の入り時刻が急激に早まる秋口以降は、夕暮れ時から夜間にかけて重大事故が多発しますので、車のライトの早めの点灯などにご留意をお願いします。

一方、先月 18 日に福岡市で 7 歳と 5 歳の姉妹が亡くなる痛ましい交通事故が発生しています。事故の際、姉妹は後部座席でシートベルトをしていたようですが、シートベルトは大人の体格向けに作られているため、事故の際に首や腹部を圧迫して受傷する可能性があります。しかし、小さなお子さんへのチャイルドシートの利用率は低調（76.0%、令和 5 年警察庁と J A F 調べ）だそうです。法律で 6 歳未満の子供へのチャイルドシートの使用が義務付けられていますが、※ J A F では 6 歳以上でも身長 140 cm 未満の場合（一般的に小学校 5 年生の平均身長）は着用を推奨していて、来年から 150cm 未満（同小学校 6 年生）に引き上げるそうですので、ご参考にしてください。

※ 道路交通法第 7 1 条の 3 第 3 項で、6 歳未満の幼児を乗車させる際、疾病などの場合を除いて、幼児用補助装置（チャイルドシート若しくはジュニアシート）を使用しなければならないと定められています。



チャイルドシートはいつまで（何歳まで）必要？

→ <https://jaf.or.jp/common/safety-drive/protect-life/child-seat/six-years-and-over>

台風頭痛

台風頭痛って聞かれたことはありますか？**台風の発生や接近で頭痛や体のだるさを発症**する方が実際にいらっしゃいます。台風の接近では、気圧の低下が起こりますので、それを感知した内耳から脳への信号によって交感神経などが影響されることや、台風と聞いて心がざわつくことで起こるようです。

また、気圧が1hPa下がると海面は約1cm吸い上げられます。

このため、人の体の約60%は水分ですから、何らかの影響を及ぼしていることも考えられ、低気圧の接近などでも頭痛を発症される方もいるそうです。

これらのことから頭痛に悩まされている方の中には、気圧の変化に敏感な人も含まれていると思われます。**このような頭痛の緩和方法は、いろいろあるようですが、ご参考として1つ紹介します。**



1分間で和らげる方法（ウェザーニュース）

→ <https://weathernews.jp/s/topics/201910/090065/>

防災の日、防災週間

大正12年9月1日に発生した関東大震災では、10万人以上の犠牲者が出ました。このことを忘れないようにするため、毎年**9月1日は防災の日**、**8月30日から9月5日は防災週間**です。**平常時から災害に対する備えを心がけ、発災時は、住民自らが「自らの命は自らが守る」意識を持って行動する「自助」、地域の人たちとお互いを助け合う「共助」、行政による「公助」を組み合わせ**て対応することが重要ですので、**災害を自分ごとと捉えての対応を**よろしくをお願いします。

「関東大震災100年」特設ページ（内閣府）

→ <https://www.bousai.go.jp/kantou100/index.html>

【編集後記】

今月も防災・安全ニュースを最後までご覧いただきまして、ありがとうございます。
ました。

台風頭痛の緩和方法についてご紹介しましたが、私は低気圧や台風の接近で気圧が下がると腰痛になりやすいです。このような災害が起こる可能性がある時に腰痛で動けなくなると困るので、いつも手元にコルセットを持参しています。これは私にとって、日頃からの災害への備えの一つでもあります。 (N.O)